

2018年7月13日
第94号

全労連

全労連
憲法・平和グループ

憲法 平和闘争ニュース

昨日(12日)、世界大会運営委員会は以下のアピールを発表しました。

開催地広島をはじめ豪雨被害地に支援を 全国と世界の連帯で世界大会を必ず成功させよう

みなさん、

原水爆禁止2018年世界大会を前にして、西日本を数十年に一度という集中豪雨が襲いました。被害を受けた方がたに心からお見舞いを申し上げます。

今回の豪雨災害により、14府県で200人が犠牲(7月12日現在)になるなど、中四国を中心に広範囲にわたって被害が出ています。いまも捜索、救援、復旧の努力が続いています。とりわけ、原水爆禁止世界大会の開催地である広島への被害は深刻です。全国的な緊急の支援を心からよびかけます。

現地では、「被爆地の運動としての責務をはたそう」と、被災地救援に全力を尽くすとともに、60周年を迎える国民平和大行進と原水爆禁止世界大会を成功させるために決意を新たに奮闘しています。

世界大会実行委員会には、すでに海外の友人からもお見舞いが寄せられています。大会の開催を心配している方もいます。それだけに現地で奮闘されるみなさんと心をつなげて、全国と世界の友人たちの支援と連帯によって、今年の世界大会をなんとしても成功させなければなりません。私たちは、世界大会実行委員会に結集する中央諸団体と都道府県のみなさんが、被災地への支援を強めるとともに、世界大会成功のために尽力されることを心からよびかけます。

みなさん、

20日後に迫った世界大会には、内外から大きな期待が寄せられています。それは、昨年の核兵器禁止条約、今年の米朝首脳会談と、非核と平和の激動的な動きをどう前進させるのか、その展望を示す大会となるからです。

大会には、核兵器禁止条約をリードしたアイルランド、オーストリア、メキシコ、キューバ、ベネズエラの政府代表とともに、アメリカやフランスなど核保有国からも反核平和組織の代表が多数参加します。朝鮮半島の非核化と北東アジアの平和体制の構築を実現する市民社会の連帯をつくるために、韓国をはじめ多くのアジアの代表も参加します。今後の運動方向と展望について活発で充実した議論がおこなわれるでしょう。

「核の傘」から離脱し、核兵器禁止条約に参加する政府の実現をめざして、核兵器禁止条約を支持する共闘野党の代表とともに、「戦争させない・9条壊すな！総がかり実行委員会」の共同代表が初めて大会に参加します。オール沖縄会議の代表も初めて大会に参加します。

世界大会まで残された20日間、これまで参加をよびかけていなかった団体・個人にも幅広く参加をよびかけ、大会を大きく成功させましょう。

2018年7月12日 原水爆禁止世界大会実行委員会・運営委員会

核兵器禁止条約への流れを作ったオーストリア政府代表が原水禁大会に参加

4日広島開会総会、5日フォーラムで発言します



国連の核兵器禁止条約交渉会議で中心の役割を担ったハイノッチ氏

オーストリア外務省から、トーマス・ハイノッチ・軍縮軍備管理不拡散局長が原水爆禁止 2018 年世界大会に参加することが決まりました。

オーストリア政府は、核兵器の非人道性を広げるイニシアチブを主導し、2014 年 12 月には、核兵器の人道的影響に関する国際会議を主催しました。そこで、「オーストリアの誓い」を発表。地球全体に壊滅的な被害をもたらす核兵器を禁止するため「法的ギャップを埋めよう」と呼びかけました。それが「人道の誓い」になり、「多国間核軍備全廃交渉の前進」決議を主導し、国連での核兵器禁止条約交渉会議につながりました。

ハイノッチ大使は、その中心の役割を担ってきた大使で、交渉会議においても条約採択の先頭に立った人です。日本の被爆者や原水爆禁止運動の果たしてきた役割を高く評価し、「大会参加を楽しみにしている」と述べています。

原水禁大会では、8月4日の広島・開会総会、5日のフォーラム「核兵器禁止・廃絶へー政府とNGOの対話」で発言します。

そして、長崎での国際交流フォーラム(8日)やナガサキデー集会(9日)にも参加します。(原水爆禁止 2018 年世界大会実行委員会ニュース 7月9日発行より)

●豪雨災害による平和大行進の緊急連絡がだされました。

緊急連絡 2018 年国民平和大行進岡山県実行委員会
事務局長・平井昭夫

平和行進について変更のお知らせ

連日のご奮闘に敬意を表します。

先日の豪雨で被災された皆さんにお見舞い申し上げ、亡くなられた方に心からお悔やみ申し上げます。

「晴れの国・岡山」でのまさかの大災害に改めて自然の脅威と、災害予防の行政の在り方について考えさせられます。

さて、今回の大災害で平和行進についても変更・中止を余儀なくされていますのでご連絡いたします。

変更と中止

1、7月16日(月・祝)兵庫県との引き継ぎ場所の変更
従来の宇野バス「寒河停留所」から「JR寒河駅前」に変更します。

*駐車場がないので、参加の皆さんはできるかぎり乗り合わせて集合ください。

2、中止コース

7月23日(月)総社市山手出張所出発→総社市役所→清音出張所→倉敷市真備出張所のコースは、清音出張所から先の行進を中止します。(午前中で終了)

被災地の真備町内の行進予定でしたが、復旧さなかで住民感情を考慮して中止を決めました。

3、網の目のコースの変更・中止は各地域実行委員会で判断されます。

7月10日現在、県実行委員会に中止の連絡があったのは、7月19日鏡野・久米コース(土砂災害で通行不能が発生とのこと)中止です。以上

森友・加計学園疑惑徹底追及！安倍内閣総辞職！ カジノ実施法案廃案に！国民の怒りを結集しよう！

●9条改憲NO！北東アジアの平和と共生を！政治の腐敗と人権侵害を許さない「安倍政権の即刻退陣を要求する7・19国会前大行動」

7月19日(木)18:30~20:00 国会正門前を中心(憲法共同センターは南庭)

規模：国会最終盤、怒りを集めて数万人の結集を。